

平成 23 年度エコ事業所表彰 審査基準と審査委員長コメント

1 審査基準

(1) 電気使用量の削減に向けた取組部門

地球温暖化防止に貢献する事業活動に努め、電気使用量（CO₂排出量）を削減した事業所のうち、他の模範となる取組を実施したもの

なお、対象事業所が多種多様な業種・規模に及ぶことから、原単位※当たりの使用量（CO₂排出量）削減率を重視して評価

(2) 自動車燃料使用量の削減に向けた取組部門

地球温暖化防止に貢献する事業活動に努め、自動車燃料使用量（CO₂排出量）を削減した事業所のうち、他の模範となる取組を実施したもの

なお、対象事業所が多種多様な業種・規模に及ぶことから、原単位※当たりの使用量（CO₂排出量）削減率を重視して評価

※ 原単位 電 気:使用量と密接な関係を持つ値 例)事務所-延床面積、製造業-生産量
自動車:自動車台数

(3) その他の地球にやさしい（環境に配慮した）活動部門

創意工夫されている、組織内で浸透している、継続性がある、地域との関わりが深い等、他の模範となる取組を実施した事業所

2 被表彰事業所

別紙「平成 23 年度エコ事業所表彰被表彰事業所一覧」のとおり

3 エコ事業所表彰審査委員

| 所 属 等 | 氏 名 |
|-------------------------|-----------------------|
| 北九州市立大学国際環境工学部 教授 | ふたわたりとおる 二 渡 了 |
| 財団法人省エネルギーセンター九州支部 事務局長 | むらかみ なおみ 村 上 直 美 |
| 福岡県地球温暖化防止活動推進センター長 | おざもと ぎいち 尾 座 本 宜 一 |
| 福岡県環境部環境保全課長 | あおき たかし 青 木 孝 志 |

4 審査委員長コメント（北九州市立大学国際環境工学部 教授 二渡 了）

(1) 総評

平成19年に募集を始めた「エコ事業所」については、直近で県内約1,800の事業所が登録しています。今回の審査においては、「エコ幼稚園」や「エコ保育園」からも多数の取組結果が報告されるなど、この制度が幅広い業種に拡大しつつあることが確認できました。

あらゆる業種・規模の事業所を対象としているため、各事業所の取組内容や結果を相対的に評価することは容易ではありませんが、電気使用量及び自動車燃料使用量の削減については、原単位当たりのCO₂排出量の削減率を比較した上で、実際の取組が優秀と認められる事業所を選定しました。

その他の地球にやさしい（環境に配慮した）活動については、顕著な効果を挙げ、他の参考となる創意・工夫があり、組織内での浸透が図られ、継続性があり、地域との関わりが深い取組であるか等を基準に審査し、優秀な活動を実践していると認められる事業所を選定しました。

事業所における地球温暖化防止の取組は、省エネルギーや省資源に直結するものであり、環境保全の効果だけでなく経済的な利益をももたらします。一方で、こうした活動を継続して推進するには、代表者以下全従業員の理解と協力が必要です。

被表彰事業所の経営理念や方針、推進態勢等を称えるとともに、この表彰が他の事業所の取組促進にも寄与することを期待します。

(2) 各部門の最優秀事業所の評価

ア 電気使用量の削減に向けた取組部門

| | |
|------|---|
| 事業所名 | (財)福岡県浄化槽協会筑後検査センター〔久留米市〕 |
| 評価 | 検査用機器を省エネ・節水型のものに更新するほか、空調・照明の使用状況の確認徹底、待機電力の節減等の取組の結果、電気使用量の削減を達成した点を評価しました。 |

イ 自動車燃料使用量の削減に向けた取組部門

| | |
|------|---|
| 事業所名 | (株)矢野特殊自動車〔新宮町〕 |
| 評価 | 営業車に低燃費車両を積極的に導入するほか、継続的なエコドライブの推進及び使用状況の適切な管理・分析等の取組の結果、ガソリン使用量の削減を達成した点を評価しました。 |

ウ その他の地球にやさしい（環境に配慮した）活動部門

| | |
|------|--|
| 事業所名 | (株)クリーン春日〔春日市〕 |
| 評価 | 廃棄物の発生抑制及び分別回収の徹底、ボランティア清掃の積極的実施、小学校との環境交流（出前講座や牛乳パックリサイクルの協力）等、各種の省エネ・省資源及び地域・社会貢献の取組を発展的に継続し、他社にも環境配慮型の取組を提案・推奨している点を評価しました。 |